

## 地域別意見交換会 IN 臼杵市

5月23日(月)、臼杵市野津町にて、県教育委員と臼杵市との地域別意見交換会が行われました。今回は、幼保小中の連携をテーマとして、まずは、臼杵市立野津小学校の1年生生活科と6年生家庭科(調理実習)の授業を参観しました。特に6年生は野津中の佐藤教諭(家庭科)も授業に参加され、小中連携の実践を見ることができました。

参観後は県の教育委員から、言語能力の育成(標準語も方言も大切)や、自分の考えを伝えたいと思うような授業づくりの在り方の意見が出されました。また、オンラインを活用する等工夫をして調理実習を行う姿や1年生への効果的な指導について賞賛する発言が多くありました。



**拍手と笑顔**  
安心安全な教室をみんなで作ります。



**お手本になる**  
教室のルールを、自分の姿で示してみる。



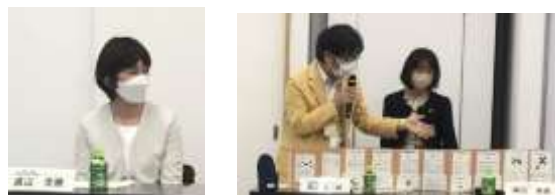
**観察力**  
細かい所まで見ると、新たな事が発見できる。



**調べたいこと**  
知りたいことは一人ひとり異なりますね。

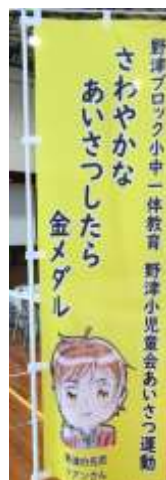
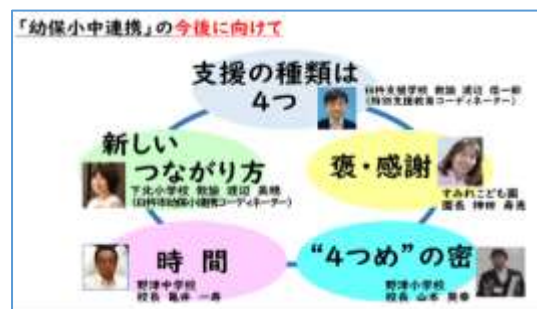
<p><b>幼保小中連携のキーワード</b></p>	<p><b>つながり</b></p>	<p><b>安心して野津中へ</b></p>
<p><b>子ども理解とは?</b></p>	<p><b>距離をちぢめる</b></p>	<p><b>発達障がい</b></p>

意見交換会では、臼杵市教委新名敦学校教育課長からの説明の後、野津小山本英幸校長、野津中亀井一寿校長、すみれ子ども園神田寿恵園長、臼杵支援学校渡辺信一郎特別支援教育コーディネーター、下北小渡辺美穂臼杵市幼保小連携推進コーディネーターから、幼保小中連携についてそれぞれの実践を通して説明がありました。



臼杵市は、「小一中連携」を推進した際、その肝は「小一小連携」にあったことから、幼保小の連携におい

て幼稚園、保育園、こども園等の連携に市をあげて取り組まれています。その際、特別支援教育や幼保小連携推進のコーディネーターの役割が大きいことも確認できました。



特に、特別支援教育の在り方や、深い子ども理解については活発な意見交換が行われました。

臼杵市の共通目標である、「15の春の自立をめざした系統的な教育」ですすめる『幼小中一体教育』をより推進するために、大分教育事務所もその実践に学び支援を行います。関係者の皆様、誠にありがとうございました。